OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	TA (Teaching Assistant) の声　サイバーメディアフォーラム no.14　情報教育システム
Author(s)	
Citation	サイバーメディア・フォーラム. 2013, 14, p. 40-41
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/70355
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

TA(Teaching Assistant)の声

情報活用基礎を担当して

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

宇佐見 潤
（情報科学研究科　情報システム工学専攻）

私は、2013 年度の前期情報活用基礎に理学部と医学部保健学科、外国語学部の 3 つを担当しました。

講義内容は、MS-Office の基本的な使い方や HTML を用いたホームページ作成、理学部に関しては、Latex を用いた文書作成や Mathematica でのプログラミングがありました。

どの学部においても、さまざまな質問があり、教える側として大変有意義な時間を過ごせたと思います。全体を通して、生徒の抱えている問題に対して、どのように対応するのが良いのかを考えさせられました。

先生の声を聞き逃しただけならすぐ授業に戻れるようにサポートし、演習に対する質問では、わからない問題に対してヒントを与え、考えるキッカケを作るよう努めました。その都度、生徒の悩んでいる問題に対して臨機応変に対応するのは、大変難しかったです。

今回、初めての TA 業務を終えて、教えることの難しさを学びました。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

本田 博之
（情報科学研究科 マルチメディア工学専攻）

2013 年度前期の医学部保健学科、及び外国語学部外国語学科の「情報活用基礎」の授業を担当しました。両授業共に、基礎的な Office ソフトの利用法と HTML の編集が学習内容でした。まだ学部 1 年生ということもありますが、学生らのコンピュータリテラシが存外低かったので指導には一苦労しました。しかしながら、皆意欲的に取り組み、課題に対し「ノルマ達成」以上の質を追求する姿勢には感心しました。TA である私どもにも次々と積極的に質問してくれ、こちらもフレンドリーに指導することが出来ました。授業後に雑談を投げかけてくれる学生もおり、指導補助者と学習者という枠を超えた良好な人間関係を築けたように思います。下級生に指導するという機会が久々でしたので、私にとっても良い経験となりました。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

続木 沙也加
（薬学研究科　創成薬学専攻）

私は 2013 年度の前期に薬学部 1 年生の情報活用基礎の TA を担当しました。情報分野に関する幅広い内容が扱われており、今後の大学生活や社会での生活において大変有用な講義であると感じました。特に MS-Power Point や HTML 文書によるホームページ作製ではグループごとに与えられた課題を各学生が分担して調査し、まとめ、発表するという作業を行うことで、情報分野の基本的な知識を身につけることができるだけでなく、チームで課題を解決していく力や、プレゼンテーション能力も身につけることができるいい機会であると思いました。私自身も学生に指導する中で新しい知識を吸収することができ、非常に貴重な経験となりました。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

高木 祥一
（情報科学研究科 情報ネットワーク学専攻）

2013 年度前期に医学部保健学科、外国語学部、工学部の情報活用基礎の TA を担当しました。

講義内容はそれぞれで大きく異なったのですが、医学部保健学科と外国語学部では MS-Office につい

ての講義が主でした。今は各家庭に PC があるというのが普通だと思いますが、MS-Office についてはほとんど触ったことがない学生が多く、戸惑っていたのが印象的でした。しかし、それも最初のうちだけで、最後には様々な機能を使いこなしていたようです。

工学部の講義では、実際に C 言語によるプログラミングを行うなど、より専門的な内容が含まれていましたが、講義のスピードが明らかに早く、ついていくことができない学生が大半だったように思うので、講義範囲を狭めて学生が理解できるスピードで講義を行ったほうが良いように思います。

この講義で学んだことは少なからず今後の勉学や社会で必要となることだと思うので、学生には積極的に講義内容を思い出し、それを活かしてもらいたいと思います。